

# 課題は生活リズムや食生活

## 「大山町子ども健康会議」が発足



大山町子どもたちの健康な心身を育むため、子どもの生活リズムや食生活等、心と体の健康についての情報を共有し、必要な対策を検討しようと、「大山町子ども健康会議」が発足しました。12月14日に第1回目の会議が開かれ、今後、関係者が連携を深め、それぞれの活動に活かしていくことなどが話し合われました。

### 特色ある取り組みを 情報交換

第1回目の会議では、はじめに大山町の幼児教育の現状と課題、今後の方向等について、教育委員会事務局から説明がありました。

その後、合併以前にそれぞれの地区で、関係機関が連携しておこなっていた特徴的な取り組み事例について、次のような報告がありました。

#### 中山地区

##### 結びつけることが重要

中山地区では、学校・家庭・地域が連携して子どもの生活改善に取り組もうと、平成14年度から3年間、県のモデル事業に取り組みました。

ほぼ毎月会を重ね、朝食実態調査や講演会、文化祭での展示、朝食キャンペーンの実施などをおこなってきました。

取り組みの成果は、いろいろな部署との関わりができてきたことや、課題がはっきりし方向性が見えてきたとのことでした。また、それぞれがおこなっ

ている事業をどう結びつけていくかが重要であるとの感想もありました。



冊子『中山町子どもたちの生活実態調査集計結果』

#### 名和地区

##### 調査から新たな取り組みに

名和地区では、平成16年度に小学生を対象にした食生活調査をおこない、その結果を「食生活調査検討委員会」で分析し、具体的な提言をまとめました。

調査結果と提言は、広報などで町全体に広く公開し、各家庭や団体・関係機関の主体的な取り組みを促すように工夫しました。

その後、名和中学校PTA主催で食生活調査の結果を題材にした講演会が開かれたり、光徳保育所で『食育だより』が発行されるなど、新たな取り組みにつながっています。